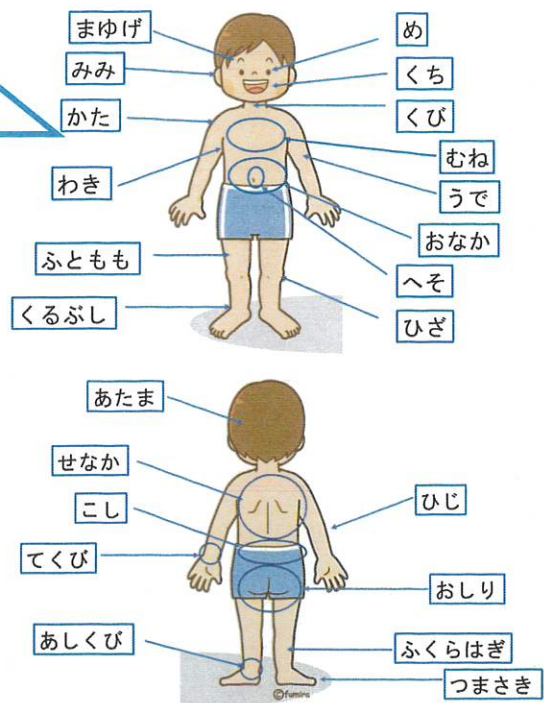


3・4・5歳児さんに からだについて お話しました。

令和5年6月28日
うたさくこども園
医務室

体の部位の名前当てクイズをしました。ふともも・ふくらはぎ・つまさき・くるぶしなど難しい問題もありましたが、答えてくれる子もいました。



「だいたいどこだ?」の絵本を読みました。体はどれも大事、中でも「くち、むね、おちんちん、おまた、おしり」は「プライベートゾーン」と言って、自分だけの大事なところだよ。他の人には触らせたり、見せたりしないようにしようね。嫌なことをされたら、大人に話してね。来週からプールが始まるので、着替えをする時は全裸にならず、上は上、下は下と順番に着替えようね。女の子も男の子も水着は下半身から着替えようと伝えています。



玄関の掲示板でご紹介させていただきましたこちらの絵本ですが、実際に我が家の娘と息子に読んでいた本になります。娘が小学3年生、息子が1年生の時に初めて読み聞かせをしました。最初は他の絵本と同じ感覚で話を聞いていました。一度では理解ができなため、「なんで女の子は血が出るの?」(姉が生理になった時息子からの質問でした)「見て!お股が立ってる」(息子がおちんちんを触っている時)など都度「性」に関する話が家庭で出た時に、読み聞かせをしています。先日も「赤ちゃんはどうやってできるの?」と今年5年生になった息子に聞かれ、読み聞かせをしました。

東京教育大学(現筑波大)卒で保健体育教諭として25年ご勤務された村瀬幸浩先生は「性教育は生きる喜びを学ぶ、明るく楽しい学問」と話されています。

性教育は人権や人間関係まで教える幅広い学問で、性器の名称や性交渉の話は、性教育のほんの一部にすぎません。

お子さんに「赤ちゃんってどうやってできるの?」と聞かれて、返答に困られた方もおられると思います。

村瀬先生は子どもに「どう思う?」と聞き返してみても、この時のやりとりを楽しんでくださいと話されています。

そして、理解できそうなら「ほんとのこと教えてあげるね」、まだ理解できなさそうであれば「大きくなったら教えてあげるね」と先延ばししてもかまいませんと話されています。

お子さんが興味を持たれた時、その子その子のタイミングでお話されてみてください。

こちらの絵本では「からだ」「いのち」「わたしとみんな」というテーマで、男女のからだのつくりや生と死について、人の気持ちや人を好きになることなど、幅広く取り上げられています。

また、保護者様向けに話をする時の解説もついております。ご参考になればと玄関前に展示致しますので、手に取って見てみてください。

